

名古屋市緑化センター・鶴舞公園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	公益財団法人名古屋市みどりの協会		
主な業務内容	名古屋市緑化センター・鶴舞公園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市昭和区鶴舞一丁目1番168号		
評価対象期間	令和2年4月～令和3年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和4年3月

2 評価結果

評価項目		評価区分	特記事項	
管理体制及び協働	1 管理体制	◎	新型コロナウイルス対策を適切に実施した。独自の看板設置やイベントにおける対策など、市を代表する公園としてモデルとなる対策に率先して取り組んだ。 地域との連携も根付いており、また、公園の歴史や剪定技術の研修が実務に活かされるなど、人材育成の効果も出ている。	
	職員配置 緊急時の体制 人材育成等			
	2 協働			
維持・管理運営等	1 維持管理	◎	コロナ禍によりボランティア活動の参加者が激減する中、直営作業員のみで例年に見劣りのない園内の維持管理に努めたことを評価したい。 また、イベントの実施が制限される一方で、維持管理業務の強化に努め、予防保全を含めた施設の修繕や景観・安全に配慮した植物管理、資料のデータベース化など、今何ができるか考えられた維持管理がなされた。	
				園内清掃
				建物・設備の管理
				保守・点検・修繕
				植物管理
				管理水準の維持
	2 運営管理	○	有料公園施設や行為許可の手続きを迅速化するための工夫がなされた。 また、利用者の意見を取り入れた修繕の実施や花の見ごろや公園の見どころを定期的に更新するなど、利用者の目線に立った取り組みに努めている。	
				利用者アンケートの実施
				利用者ニーズの把握と反映
				利用者サービス向上策
				接客・接客向上の取組み
	3 この施設特有の管理	◎	公園を代表するバラやアジサイ、ハナショウブ等の植物が適切に維持管理されるとともに、SNS等の活用や珍しい植物の展示等により緑の普及・啓発のための創意工夫がなされている。特にフジの樹勢回復やハスの復活は素晴らしい出来栄であった。 また、植物のみならず、緑化センター内のリニューアルや公園の歴史・魅力を発信するための取り組みも精力的に実施されている。	
				緑の普及・啓発事業への取組み めざす公園像への取組み
	4 魅力増進・利用促進	◎		
				魅力の増進策
イベント等の実施				
講習会等の実施				
5 収納金の処理業務	○	還付事務が増大したが、適切に現金の管理、書類の作成等が行われた。 業務で使用される領収書と自主事業で使用される領収書をあわせて同じ領収書管理簿で管理されていたので、分けて管理されたい。		
			関係書類の調製・保管	
自主事業	1 自主事業	○	新型コロナウイルスにより、イベントの実施が制限される中、対策を検討し、可能な範囲でのイベント開催に努めた。 年間を通して緑化センター開館40周年のPRに努めた。	
				事業計画に基づく自主事業の実施
				集客対策への効果
収支	1 収支	○	直営作業による外注費の削減や効果的な施設修繕、契約先の見直し等により経費削減に努めている。	
				経費節減策
その他	1 その他	○	年間収支	
				法令・協定の遵守 事業計画との比較分析

【総合評価】

独自の中期植物管理計画を作成し、庭園管理アドバイザーの助言を受けながら積極的な維持管理に努めるとともに、除草管理においても様々な工夫をしながら良好な状態を維持した結果、カルガモやカワセミの繁殖を確認するまでにつなげたことについて高く評価したい。
また、コロナ禍においても、可能な範囲でボランティア団体や教育機関、地域団体等との連携に精力的に取り組むとともに、感染症対策を適切に行いながら、来園者のニーズに合わせたイベントを実施することでサービスの維持に努めた。
「見てわかるアジサイの剪定講座」を始めユーチューブ等による当公園の特色を活かしたユニークな情報発信に取り組んでおり、今後もSNSを活用した発信を続けて欲しい。
今後は、講習会と展示会について、現状の評価を行ったうえで、新たな企画への入れ替えを積極的に行い、さらなる緑の普及啓発と公園の利用促進を図られたい。

施設の現状

名古屋市緑化センター・鶴舞公園

施設の現状	施設概要							
	<p>鶴舞公園は、名古屋市が設置した最初の公園として、平成21年度には開園100周年を迎えた歴史ある公園です。サクラやハナショウブなどの季節の花々の咲く緑ゆたかな園内には、開園当時をしのばせる噴水塔や、普選記念壇、奏楽堂等の施設のほか、野球場やテニスコート等の運動施設があり、市内随一の市民の憩いの場となっています。</p> <p>また、鶴舞公園内にある名古屋市緑化センターは、植栽知識の普及及び市民の緑化意識の高揚を図り、緑ゆたかなまちづくりを推進する拠点施設として、昭和55年に開設しました。場内は外周に見本園を配し、家庭や事業所緑化の参考となる各種樹木が栽培されています。館内は、緑化に関する相談・指導、各種資料の展示、講習会・研修会の場として幅広く利用されています。</p>							
	市の収支状況(千円) (2年度決算(見込)額)							
	支出			収入				利用料金
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
	228,658	-	228,658	39,007	104	189,547	228,658	—
	特記事項							
	指定管理区域を、鶴舞公園有料3施設も含め平成22年度から鶴舞公園全域に拡大							
	管理運営指標の状況	取組状況						
		指標	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
講習会受講者数		人	2,010	1,732	1,701	590		
緑化相談者数		人	1,713	1,571	1,373	908		
入館者数		人	192,161	183,231	176,585	76,266		
特記事項								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載